

「撃退ドットマン」導入進む

害鳥駆除 特殊レンズで視覚混乱

「ウイングヤマグチ」



倉庫内に取り付け害鳥をシャットアウト

特殊なドット（点）柄と偏視覚レンズの組み合わせで鳥の視覚を混乱させ、設置箇所に近付けないようにする仕組み。プレート（ま

たはテープ）状のドットマ

ンは、簡単に切断、加工、取り付けでき、防鳥ネット

よりコストを低減できる。

デザインは、自然界で警

慣れ防ぎ効果継続

倉庫や物流センターの害鳥駆除を手掛けるウイングヤマグチ（安田謙司社長、福岡市中央区）が開発した、特殊レンズの視覚効果で害鳥を追い払う「撃退ドットマン」の導入が大手物流企業や飼料メーカー、電力事業者、鉄道事業者、携帯電話会社などで進んでいる。（上田慎二）

（上田慎二）

UD調べ トランクの未来

「物流の中心担う」8割超

燃費性能向上も期待

UDトラックス（村上吉弘社長、埼玉県上尾市）が

9月29日発表した「トラン

クの未来」に関する調査に

よると、「今後もトラン

クが物流業界の中心的な役割

を果たす」とした回答は8

割を超えるトランクへの高

い期待が示された。また、「10年後の燃費向上期待値」

は「2倍」が40%を占め、

「1・5倍」（39%）と合

わせて8割近くに到達。事

業に大きな影響を与える要

素として、燃費性能の向上

を期待していることが分か

った。

「物流の世界が今後進化

登録されている。

安田社長は「食品や飼料

を扱う倉庫や物流センタ

ー、糞害による金属の腐食

を恐れる鉄鋼メーカーから

技術紹介制度に、それぞれ

の新技术活用システム、福

岡県、福岡市、宮崎県の新

た。

UDトラックスはその

中心を担っていくと思う

か」の設問に対し、81%が

「はい」と回答。一方、

「いいえ」では、このうち

3割が「環境に悪い」を

挙げたほか、「運転しづら

い」といった回答もあつ

た。

「今後求めているトラン

ク像」（複数回答）では、

「歩行者や車両に対する安

全性が高い」が39%で最

多。回答者のカテゴリー別

にみると、決定権者の66%

が「格段に燃費が良い」と

答えたのに対し、ドライバ

ーは「故障しにくい、もし

くは故障しても修理が早

い」（46%）が最も多かつ

た。また、一般男女は「排

気」（46%）が最も多かつ

た。

た。